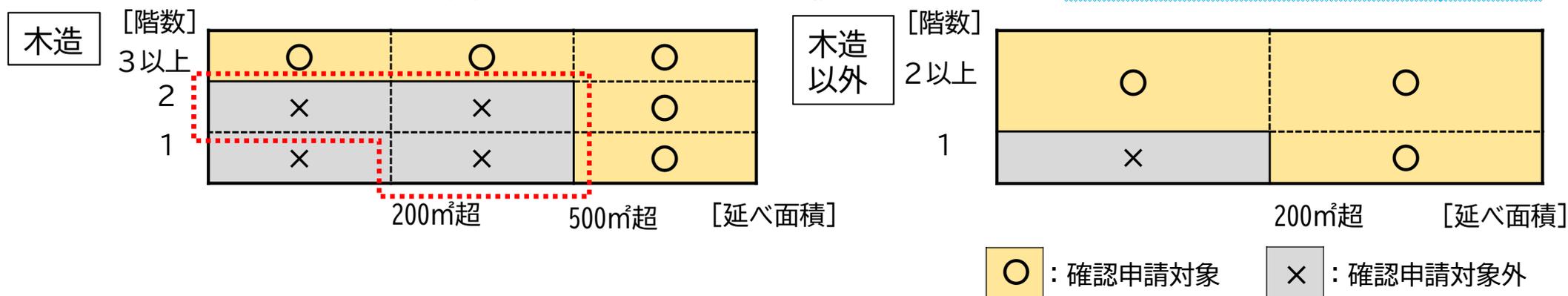


建築基準法が改正され、令和7年4月1日から湯津上地区及び黒羽地区において、建築確認の対象となる建築物の規模等が変更になりました

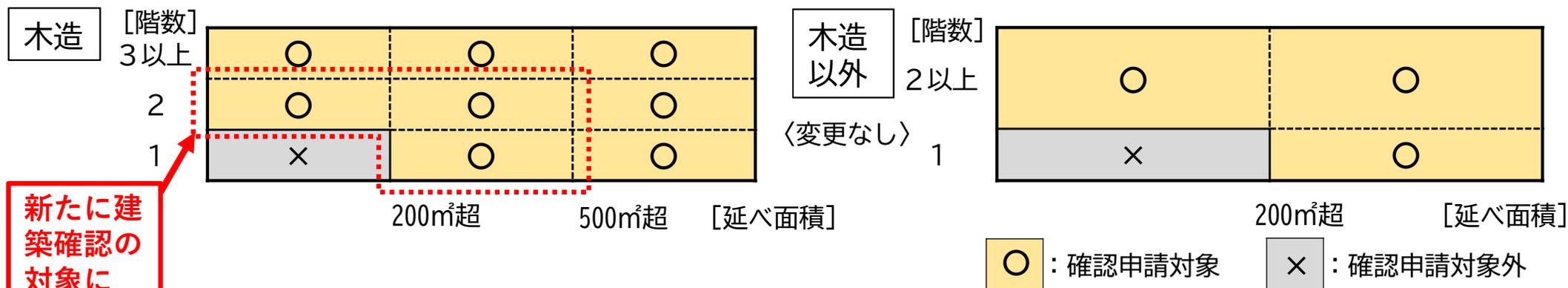
(※なお、4月以降においても両地区は引き続き都市計画区域外で変更ありません。)

改正前 特殊な用途の建築物以外で木造建築物の階数2以下かつ延べ面積500㎡以下、及び、用途によらず木造以外の建築物で階数1かつ延べ面積200㎡以下は、基本的に建築確認申請の対象外



改正後 建築物の用途や構造によらず、階数2以上又は延べ面積200㎡超の建築物はすべて建築確認申請の対象

(※用途や構造によらず、階数1又は延べ面積200㎡以下の建築物は基本的に建築確認申請の対象外)



新たに建築確認の対象に